

(参考資料 2)

合併先進地における名称の決定事例

新市名称	関係市町村名	合併の期日	合併の方式	決定方法	決定に至る経緯
ひたちなか市 (茨城県)	勝田市 那珂湊市	H6.11.1	新設合併	小委員会 一般公募	市長・正副議長・県職員等で構成する小委員会を設置し名称を一般公募した。応募件数約5,000 件の中から1 件まで絞り込み合併協議会へ報告し決定された。 小委員会の絞り込み協議の中で「ひたちなか市」と「勝田市」で意見が分かれた経緯がある。
あきる野市 (東京都)	秋川市 五日市町	H7.9.1	新設合併	小委員会 (首長協議)	合併協議会で秋川市の委員は「新しい名称」を、五日市町の委員は「五日市」の名称を主張し紛糾。 小委員会が設置され協議されたが、結局意見の一致を見ずに小委員会は解散。 最終的には両首長の協議により地域の歴史的名称の由来から「あきる野市」が選ばれた。
篠山市 (兵庫県)	篠山町 西紀町 丹南町 今田町	H11.4.1	新設合併	住民公募 小委員会 (首長協議)	任意協議会で新市町村の名称を「篠山」を入れたものとする事は決定していたが、具体的な名称決定では紛糾。 住民から名称を募集し、小委員会で調整を図ったが意見が一致しなかったため、町長会において、①定着度、②歴史、③知名度、④住民公募の結果、⑤一体感醸成等の観点から協議され「篠山市」に決定した。
西東京市 (東京都)	田無市 保谷市	H13.1.21	新設合併	一般公募 小委員会 委員投票 アンケート	一般公募を行った後、小委員会で、①地理的イメージ、②地域的特徴、③歴史・文化、④市民の理想表現、⑤合併記念、⑥その他の分類で協議し10 件まで絞り込み合併協議会に報告。 合併協議会では、委員全員で無記名投票を行い5 件まで絞り込んだ。さらに、市民意向調査を実施し、住民の投票数がもっとも多かった「西東京市」に決定した。

新市名称	関係市町村名	合併の期日	合併の方式	決定方法	決定に至る経緯
さいたま市 (埼玉県)	浦和市 大宮市 与野市	H13.5.1	新設合併	検討委員会 一般公募 小委員会	新市名検討委員会を設置して一般公募を行い、応募があった中から5件を選考した。さらに、合併協議会小委員会を設置し5件の中から1件を選定し「さいたま市」を合併協議会へ報告し決定した。
さぬき市 (香川県)	津田町 大川町 志度町 寒川町 長尾町	H14.4.1	新設合併	アンケート 持ち寄り	合併協議会で住民アンケート調査を実施し、アンケートの最終結果と5町が持ち寄った名称を合併協議会へ提出し、総合的な見地から協議を行った結果、全国的な知名度、住民アンケート結果、一体感の醸成等の理由で、新市の名称を「さぬき市」に決定した。
あさぎり町 (熊本県)	上田村 免原村 岡恵村 須田村 深田村	H15.4.1	新設合併	一般公募 小委員会	一般公募を応募はがき、電子メール、FAX等で行い、応募件数約4,000件の中から、「新町名候補選定小委員会」で5件に絞り込み合併協議会に提出。 合併協議会では、全員一致で「あさぎり町」を新町名として決定した。
南アルプス市 (山梨県)	八田村 白根村 芦安村 若草町 櫛形町 甲西町	H15.4.1	新設合併	一般公募 持ち寄り 小委員会 委員投票	一般公募をはがき、電子メール等で行い、応募件数約4,500件の中から各町村3つずつ選定し、さらに新市名称選定等小委員会」で3件に絞り込んだ。 その後、合併協議会委員投票を行い、「南アルプス市」に決定した。
未定 (茨城県)	常陸太田市 金砂郷町 水府村 里美村	H16.12.1 予定	編入合併	住民公募 持ち寄り 小委員会	各市町村がそれぞれ住民公募を行う。 各市町村とも3案を選定し、協議会に持ち寄る。 小委員会で3件に絞り込み、協議会において1つに決定する予定。